

研修会等参加報告書

令和4年10月25日

天童市議会議長様

会派名 清新会

代表者氏名 鈴木 照一



下記により、会派において研修会等に参加してきましたので報告します。

記

研修会等名	3日間コース 「人口減少社会における議会の役割」	
主催団体名	全国市町村国際文化研修所	
日時	令和4年10月11日(火)～令和4年10月13日(木) 13時00分 12時15分	
会場・場所	滋賀県大津市唐崎 全国市町村国際文化研修所	
全体参加者数	1人	
内容等	①【講義】地方行政の現状と課題～2040年を見据えて ②【講義】過疎地域の持続可能なまちづくりを目指して ③【講義・演習】わがまちのありたい姿(ビジョン)を考える ④【講義】人口減少社会における議会の役割	
市政の課題への参考等	人口減少社会を見据えた持続可能なまちづくりを考えるうえで、さまざまな考え方を学ぶことは今後の政策提言に生かすことが出来る	
参加者の感想等	参加議員	感想等
	佐藤孝一	①地方行政の現状と課題 平成における地方分権改革により、地方自治体は政策的裁量が拡大したが、また政策上の説明責任も加わった行政改革においては、政策目標の効率的、効果的な実施できる環境が整う。 例) 事務事業の見直し、定員管理・給与手当の適正化、組織機能の

	<p>改革、指定管理者制度、人事評価制度の導入、PFIの活用など。 人口減少とどう向き合うか。 地域の維持、地域を消滅させないためには出生数の一定数のキープ、社会増減ゼロを目指す施策の展開が必要。</p> <p>人口減少化の問題点 労働人口の減少、自治会・町内会が維持できない、地域公共交通消滅、公共施設維持困難、市街地の空洞化、地域社会の活力低下、地域防災力・防犯力の低下、地域伝統文化の消滅、若者数減少、企業人材不足、若者の出会いの場の減少など。 人口減少抑制施策と人口減少に伴う諸課題対策をバランスよく的確に行えるよう常に問題提起を行う。</p> <p>②過疎地域の持続可能なまちづくりを目指して 目標とする将来像を「ひとつつながり地域がつながる住み続けたい結のまち」とし、高速交通アクションプログラム、健康のまちづくり、大野ですくすく子育て応援パッケージの3つの重点プロジェクトを展開する。地方創生・人口減少対策の取組みをデジタルの力で強力に推進する。 脱炭素化の主な取り組みとして、木質バイオマスの利活用、ごみ処理エネルギー等の有効利用、脱炭素型エコライフの普及啓発、庁内の推進体制を展開、課題は再生可能エネルギーの普及、再生可能エネルギー導入を担う人材・事業者の育成、耕作放棄地等の活用、豊富な森林資源の活用、雇用の創出（企業誘致・産業創出）、老朽化した公共施設等の更新などをふまえて温室効果ガス排出量の推計、将来ビジョンの作成、再エネ導入目標の設定、市民・事業者を含めた推進体制を網羅した長期的なビジョンとして脱炭素ビジョンを策定する。 脱炭素化に向け、複数課題を同時解決する取り組みを展開。SDGSの理念に基づき地域課題の解決と背策の全体適正化により相乗効果認められる。</p> <p>③わがまちのありたい姿（ビジョン）を考える 長期的な対応が求められる課題に対するバックキャスティング型政策形成 従来の行政計画の時間的視野を超えた長期的な課題に直面。 あるべき社会を実現するための社会的投資を計画的に行うことが必要。 あるべき社会像を社会の構成員として一緒に作り上げていく作業が求められている。</p>
--	--

	<p>脱炭素社会の実現</p> <p>2050年カーボンニュートラルの実現に向けて行動する段階に至っている。</p> <p>2050年に向けて「CO2 ダイエット」を計画的に行う必要がある人口減少・高齢化に伴う地域課題の解決。</p> <p>地方制度調査会が「地域の未来予測」の重要性を指摘。</p> <p>脱炭素投資は地域課題の解決にもつながる可能性がある。</p> <p>脱炭素社会の実現と地域課題の解決と同時に考える事が必要。</p> <p>④人口減少社会における議会の役割</p> <p>辻陽「日本の地方議会」と曾我「日本の地方政府」の対比による地方議会の検証に始まり両者の地方議会観が異なることを確認。</p> <p>その上で政党政治による地方自治の考え方、地方自治体は多様であり課題はそれぞれであるという観点から自治体が様々な制度から選び取る方向性の模索がこれからの時代に必要になってくる。</p> <p>女性は政治を変えられるか</p> <p>地方自治体の政党政治が進み、女性の社会進出が増え、立候補しやすい環境づくりが進むと女性の議会への進出は増えるのか？</p> <p>海外の事例より女性議員が増えると性差やジェンダーに関する取り組みが変わっていく、また公衆衛生に対する支出が増加。</p> <p>女性の政治関心を高めるためには文化的規範における役割規範を変え、早い段階での女性の政治への進出を促す必要がある。</p> <p>地方議会の目指すべき方向</p> <p>非対称な二元代表制を是正し、首長に対抗できるだけの専門知識や能力を持った議会を構築すること。政党や会派の対立を乗り越え、政策討議を行い、議会としての一定の結論を得て首長と対峙する姿が理想である。</p>
--	---

※参加議員全員が感想等を記載すること。